

令和元年度 岐阜県立土岐紅陵高等学校

学校運営協議会（第2回）議事要旨

- 1 会議名 土岐紅陵高等学校運営協議会（第2回）
- 2 開催日時 令和元年11月20日（水）10:00～12:00
- 3 開催場所 土岐紅陵高等学校会議室
- 4 参加者 委員 伊藤 策雄 土岐市立西陵中学校長
大野 千春 土岐紅陵高等学校PTA副会長
加藤 千洋 土岐市社会福祉協議会
佐口 裕子 下石小学校PTA母親委員長
佐々木 啓子 土岐商工会議所
土本 泰 至学館大学入試広報担当
古川 直利 土岐市立下石小学校長
山路 峰弘 土岐市まちづくり推進課長

学校側	中川 敬三	校長
	日比野 隆行	教頭
	加藤 健二	教務主任
	河村 拓士	生徒指導主事
	高田 昌史	進路指導主事

5 会議の概要（協議事項）

(1) 開会

- ① 会長挨拶
- ② 校長挨拶

(2) 委員と生徒との懇談（抜粋、要約）

Q. 先で行われた学校祭の満足度は。

A. 最初はバラバラだったクラスが最後は協力し合えたので満足している。
準備は大変だったけれど、当日はみんなが楽しんでくれたのでよかった。

Q. どんな大人になり、どんな事をしたいと思っているのか。

A. 人に感動を与えるような仕事をしたい。
人に優しくできる大人になりたい。
機械のメンテナンスなどで人々を裏から支えたい。

Q. 中学生に土岐紅陵高校の魅力を伝えるとしたら、何を伝えたいか。

A. 1年次に自分のやりたいことを探してから、2年次以降の授業を選択できる。
先輩や先生方が親しみやすく親身に接してくれる。
少人数授業のおかげで授業がよく分かる。
中学校の先生には、できるだけ広い範囲の高校のパンフレットを集めてもらいたい。

Q. 学校に望むことは何か。

A. 夏に大発生するコバエ対策をしてほしい。
選択科目に物理を入れてほしい。

Q. 土岐市など地域との交流について提案はあるか。

A. 吹奏楽部以外の部活動もそれぞれの特性を生かしてもっと地域と交流できるとよい。

(委員の感想)

生徒の話の中からこの学校の魅力が感じられた。

自分と社会との関わり、時代の流れや社会の変化を捉えた意見があり、よい学びをしてきたのだということがよく分かった。

(3) 議事

① 今後の活動についてと「基調アンケート」の実施について

ア 教頭からの現状説明

- ・ 広報活動、地域との連携等の今年度の活動状況について
- ・ 現在の中3生の本校への志願状況について
- ・ 東濃地区の生徒数の推移について

イ 校長より「基調アンケート」の実施についての提案

- ・ 経年変化を見るため、昨年と同様の方法での実施について

⇒ 委員の全会一致で承認された。

② 校則について

ア 生徒指導部長からの説明

- ・ 学校管理下ではない生徒の私生活上の事柄について、学校の許可や承認が必要なもの
- ・ 学校外での集会行事への参加や団体への加入について、学校の許可や承認が必要なもの
- ・ 下着の色を指定するなど、ルール順守の確認行為自体が人権問題となりかねないもの
- ・ 時代の要請や社会常識等の変化に伴い適用が想定されないもの

上記の4点については原則的に削除することとして、全体的に校則の見直しが行われた。本校の教育目標を達成するために、学校が定める規定に必要性や合理性があることを生徒や保護者、県民に説明できるかという観点で、本校の頭髪・服装等の規定について委員より意見を伺った。

イ 委員の意見

- ・ ある程度の規則は必要である。
- ・ 学校としては絶えず見直しながら検討していくとよい。
- ・ 自由にして、気持ちが学習から離れることはよくない。
- ・ 生徒と話し合いながら決めていかなければいけない。
- ・ 進学や就職があるので、外部の人の目も意識していかなければいけない。
- ・ 社会から求められるドレスコードを学ばせるよい機会だという考え方もある。
- ・ 夏場のハイソックスは暑いのではないか。
- ・ 夏場はハイソックスを販売してないし、指定の物は値段が高いため、普通のソックスでもよいのではないか。
- ・ 中学生は規則が厳しいほど反発するが、高校生はあまりこだわっていないようだ。
- ・ 生徒同士で身だしなみチェックをさせるのも1つの方法ではないか。

ウ 会長のまとめ

- ・ 制服を指定しているからには、ある程度の規定は必要である。現在の規定を元に、生徒の意見も聞きながら検討していくとよい。

エ 校長

- ・ 校則については、学校の教育目標に照らし合わせて合理的な説明が対外的にできるかが問われている。学校の状況に応じ、本協議会や生徒たちの意見も取り入れながら、柔

軟に対応していきたいと考える。

③ 校長より部活動について

- ・入学定員が105名となり、職員の数も減っていく。今後の課題として、現在17ある部活動の数について、近い将来見直しの必要にせまられると予想する。

会長：これからの課題として委員の間でも共有していきたい。

④ その他の学校運営等に関する意見

- ・基調アンケートについて、中学1年生はまだ高校のことがあまり分からないので、ほとんどの質問に「分からない」という選択肢を選んでしまうが、その点については了解しておいていただきたい。

6 会議のまとめ

会長より

第3回の学校運営協議会は2月頃になる予定である。基調アンケートの結果なども見ながらの意見交換や来年度の学校運営の基本方針について話し合うことになると思う。

校長より

活発なご意見の交流に大変感謝申し上げます。委員の皆様の貴重なご意見を伺いながら学校経営を進めていく所存である。